PR: ネット検索で www.kanang . Jp/ をご覧下さい

PURE/THAI 発

発刊 89 号 2018年 6月 6日 発行　　発行者　寛庵 泰

EXCITING/Thailand News

Relaxation/Place（ くつろぎのいおり ）
422/33 Soi 7 Chiangmailand T.Changklan A.Muang Chiang Mai ThaiLand〒50100 Mob：081-205-0689 e-mail：h2.kanang@gmail.com

趣味は？…

「仕事…」と云って、ひんしゅくを買った話は以前記述しましたが、相変わらずマイペースに『仕事』を愉しんでいます。勿論、朝から晩まで仕事三昧するほど忙しくありませんから、もっぱら『その他の趣味』に勤しんでいます。30km遠方にある天然温泉通い以外は、室内趣味で、YouThubでの映画鑑賞・ネットニュース/メール検索・ネット碁などです。

現職時代に、やりたくても出来なかった趣味に没頭したいというのも、リタイアメント世代の夢でもあります。以前、ダイワハウスの建売住宅販売に携わっていた時、買いに来られたお客様に、購入動機を聞いたところ、「退官（検事さんでした）を前にして、退官後は趣味の釣りを思う存分、毎日でもやれる所に移り住みたくて、今朝早くから申し込みに来た」と、ご夫婦とも満面の笑みをたたえて、希望の購入権を手にして、契約された事を思い出します。（半世紀前の話）

人の世の泥臭いいさかいを、裁きの場で戦い続けて来て、休日などで開放された、ほんのひと時の、釣りの時間を最大の愉しみとして来られた方が、手に入れられた建売住宅でした。
当時は、建売や分譲地販売の売り出し日には徹夜組まで出るほどの不動産ブームでした。
整理券をお配りし、抽選で当った方が購入権を確保し、購入契約できるというものでした。
その事から、このご夫婦が当って本当に良かったと、一緒になって喜んだ次第です。

こういうドラマ満載な仕事が営業ですから、営業が趣味になって当然です。単純に営業は数字だ！とか云って、根拠もなしに売り上げ目標を掲げ、叱咤激励しても、数字は伸びっこありません。何故か？売るのはこっちでも、買うのは向こうだからです。（こんな事は、現職営業マンは口が裂けても上司には云えないでしょう）

現職時代からこんな事を平然と言ってましたから、上司から白眼視されていた事は間違いなかったでしょう。欲しい人、買いたい人、必要な人は向こうからやって来る。それを待ち受けて、キャッチするのが営業です。欲しくも、買いたくも、必要もないものは、幾ら言葉巧みに、ダラダラと説明しても買いませんし、売れません。
たまたま出会った（見込み客）人に、どうしたら売れるのか？欲しがらせ、買いたくさせ、必要だと思わせれば、売れると云う事です。（だから、仕事が趣味なのです）

そうさせる為の KnowHow/ HowToは、失敗の蓄積によって培われますから、簡単には教えません。結論だけ云えば、買った人の喜びを共有できる販売者でなければならないと云うことです。どうしたら売れるのかでなく、どうしたら喜ばれる（相手に利益を与えられる）のかです。

常々私達は消費者側に立っています。営業マンなら、勤務時間内営業しなければなりませんが、それでも、昼時何か食べようとしたら、何処で何を食べるのか考えます。誰でもが食通を自認しているように、私もうまい店、まずい店を選別していて、私がうまい店という店は概ね誰でもが『おいしい！』と云ってくれます。飲食の決め手は何と云っても『味』。多少不便でも、店がボロくても、交通費を使ってでも食べに行く。（食通＝グルメ趣味というのも楽しいですね）
商売の基本は、お客様に満足を提供する商品を販売する事でしょう。それの継続が信用に繋がり、やがては繁盛し、老舗になるという事でしょう。（老舗志向も趣味と云えるでしょう）
僅か10年ですが、チェンマイランド通りでは、最古参のマッサージ店はPure/Thaiです。出来ては潰れ、潰れては出没するマッサージ店は現在8店です。私の生存中Pure/Thaiは潰れません。

将棋の棋界では、藤井聡太（15歳9ヶ月）六段が、七段に昇段（最年少記録更新）した。私は、将棋の事はよく分かりません。代りに囲碁はザルですが、趣味の一つだという事は以前何度か触れました。対局相手がいるものですが、インターネットの発達・普及から、今や世界中の人と無料で対局できるネット碁があります。
CGoban 3ダウンロードを検索し、手順に従ってインストールすると、無料で世界中の囲碁ファンと対局できます。中にはプロ棋士も登録しているだけあって、レベルが高く、アマチュアで日本棋院の初段をとった人が、このネット碁では7級で打っていて厳しいという声が寄せられています。是非登録して挑戦してみて下さい。

AI（人工知能）が、プロ棋士を破ったというニュースがあったように、一段・1級違いでも、知的世界が全く違うほどだ！ということが実感できます。

ゲーム感覚・発想がどうして出来るのか、任天堂のゲーム開発を担当されて来られた横井軍平さんの話を下記に掲載します。

https://news.biglobe.ne.jp/economy/0505/bso_180505_1821515818.html　任天堂のDNAを創った人

PR:　ネット検索で　www.kanang . Jp/ をご覧下さい

祝 当選！

…って、誰が当選？…なんて、云ってちゃダメ。5月9日に行われたマレーシア首相選挙で元首相のマハティールさん（92歳）が、現職のナジブ氏を破って当選された意味と意義は余りにも大きい。あるべき姿の野党のあり方を体現され、国民が正しい選択をしたと云う、今の日本は、『ルック・ウェスト』（マレーシアに学べ）と云う事です。

本誌発刊8号（2011年8月8日号）に掲載した、マハティール演説『日本なかりせば…』を再度ご覧下さい。（添付した本文は、多少編集/加筆しましたが、演説内容はそのままです。）

5月9日 当選確定

戦前の日本、特に日露戦争に勝利した日本～大東亜戦争終戦までの過程、戦後日本の急速な復旧の姿を見て、『学ぶべきは日本だ』との確信を持って、『ルックイースト』（日本に学べ）を国策として20年余り政権を担当し、マレーシアを高度経済成長の国に導いた方です。

この、大の親日家であり、信奉者であったマハティールさん自ら、失われた20年の日本の姿を見て「今や、日本に学ぶところはなくなった」と言わしめたのは、単に日本経済の低迷よりも、毎年政権が変わり、国策が迷走し、国民の足腰が定まらない（付和雷同・日和見主義・風見鶏）状態に陥った（＝バカに成り下った）日本人を正確に把握されていたからに他なりません。

マハティールさんが後継者として指名したナジブ政権が、中国マネーに目が眩んで国を売り渡し、私腹を肥やそうと画策している事に業を煮やし、今回の選挙に打って出たと云う事です。

徐々に赤く染まりつつある東南アジアに、Stop！をかけた快挙でもあると、私事のように嬉しく思っています。ラオス・カンボジアが赤化しつつある中、タイも危うい。炭火がおこって赤化しようとしている時、火消しの水を掛けたのは、『義侠心』を持って立ち上がった老齢の政治家であり、賢い国民の選択だった。

先月号の『座頭市』ではないが、今の日本人に欠けている最大の心根は『義侠心』ではないだろうか？戦時中の兵士は大義のために命を賭けた。戦後の企業戦士も、復興と高度経済成長のために（エコノミックアニマルと揶揄されながらも）働いた。

主婦を駆り出し、残業を減らし、休日を増やして、どうして国力が上がるだろうか？バカな『働き方改革』など止めて、月・月・火・水・木・金・金で、四六時中働けば、外国人労働者など必要ない。多く働き、高度・難易な仕事には高収入が約束されれば、自然と収入と国力は高まる。その為の財政出動が急務だという事だ。

日本に失望しつつも、3·11東日本大震災の直後には、「日本人は必ず立ち上がり、復興する」と、励ましのメッセージを発していました。その時、未だマハティールさんに見捨てられていないという安堵感を覚えた事を記憶しています。

消費税撤廃インタビュー

現在のアジアの大政治家は、マハティールさんと李登輝さんをおいて他にはいないでしょう。安倍首相が大政治家と称されるためには、やらなければならない事が山積しています。多少の義侠心は持っておられるでしょうが、間違い（消費増税）を糺せない小心では大政治家の域には到達できないでしょう。マハティールさんは、この6月1日より選挙公約に掲げていた消費税廃止を断行された。何が腹立たしいかと云って「騙された」と云っただけで、なし崩しに8%を容認し、来年10%を嘯き、更なるデフレ経済状態を続け、景気を底冷えさせ、国民生活をないがしろにするような閉塞感押し付け政策をもってしては、内政問題で及第点は取れない。飴と鞭政策を今こそ使う時だ。戦争をやる以前に、戦争が出来る国でなければ国ではない。散々天引きされて受け取った収入から、更に盗られる税金（消費税）は、潔く撤廃すべきだ。

憲法改正に当たっては、9条二項の削除。消費税の撤廃。この2つを抱き合わせで、国民の真意を問う選挙に臨めば、野党粉砕！大勝利！間違いない。消費税撤廃と同時に、今後10年間毎年40兆円規模での財政出動（財政投融資）で景気浮揚策を打ち出せば、5年を待たずして国土強靭化・国防の充実・少子化問題の解消・インフレターゲット達成・など諸問題がドンドン解決してくる。

要は、義侠心を持って、腹を据えて取り組むかどうかだ。トランプ大統領とは強力な信頼関係を構築し、同志の杯を交わしたようだが、ロシアのプーチンは決して北方四島を返すつもりはない。これは、物々交換（等価交換）で、バーター契約によって取り戻すしかない。プーチンが喉から手が出るほど欲しがっている、日本の先端産業と工業技術力・基礎科学技術力の価値は高い。返したくなければ、返さなくて良いという腹を決めて、工業力・技術力の付加価値を高めれば高めるほど返還の可能性も高くなってくる。（間違っても、タダ取りされてはならない→可能性大）ペテン師竹中平蔵ほか、政商になりたがっている取り巻きなどの話を聞く暇があったら、アジアの二大政治家の話をじっくり聞きに行った方がためになる。

PR:　ネット検索で　**www.kanang . Jp/** をご覧下さい

米朝首脳会談のゆくえ

6月12日に予定されている米朝首脳会談は、様々な命運が掛った歴史的会談になる事を日本人（国民）は、一体どう捉えているのだろうか？北朝鮮や金王朝がどうなろうと知ったこっちゃない！と高を括っていたら、降り注ぐ火の粉に覆われて、助けを求めても助からない人の側に属している人だと自覚せざるを得なくなる。

金桂冠第1外務次官

人が人を殺す時、何らかの理由・事情があって当然だと思う（故に、動機・殺意などが問われる）のは、常識人の考えであって、非常識人の世界では、理由も事情もなしに『誰でも良いから、殺してみたいから殺した』が、通り相場になっている。そら恐ろしい非常識が今の日本にも存在し始めている。胎違いの兄弟とはいえ「殺っちまえ…」で、殺させ、叔母の旦那でも、惨殺させる殺人鬼は、自分の命乞いの為なら、恥も外聞もなく敵にすがりつき、国際常識をも無視した非常識な行動に出た。遅かれ早かれ、生き永らえるのは所詮ムリ筋な話だ。

金正恩の意思で命じた件もあれば、他意の唆しに同意して、命じた件も少なくないだろう。
日本のマスコミではあまり取り上げられないが、金は金でも金正恩ではなく、金桂冠の言動・行動に注目する必要がある。（逆切れ、恫喝、唆し話法は典型的な詐欺師話法でしかない）
世間知らず、国際感覚0の三代目に唐様を教え、操ることぐらい朝飯前の言行と見受けられる。

崔善姫外務次官

前段で、非常識人の世界がはびこり出して来たと記述したが、それは、日本での事で、近隣国や世界全体から俯瞰すれば、何も今始まった訳ではない。日常的に、嘘偽り・詐欺まがいのディールが行われている環境下に於いては、『須らく、因果関係で物事は解決しない』と云うのが現実だと云う事も、理解しなければ成らない。日本の常識が世界の非常識たるゆえんでもある。

訳知り顔で、原因があって結果がもたらされるという固い頭の範疇から、突如襲いかかる偶発的出来事が、結果をもたらせるというフットワーク思考が必要な時代に入って来たとも云えるだろう。（崔善姫のヒステリー発言が招いた中止勧告など）
トランプのディールVs金桂冠の詐欺ディベートのバトルで、騙された方が身包み剥がされ、戦いに勝たなければ、丸裸にされ、好い様に弄ばれ終いには息の根までも止められてしまう。米朝会談の本質は正にこれだ。

シンガポールに行くも地獄、行かなくても地獄なら、わざわざ閻魔様に舌をだして判定を下して貰うまでもなく、今までどおりキャンキャン吼えまくって、時間稼ぎをしていた方が得策と考え、中国・韓国を手玉にとって水面下取引や瀬取り密輸で生き延びる策を講じるだろうが、資金は益々枯渇し、恐怖と不安心理だけが増幅し、自暴自棄作戦を起こす可能性は高まる。

シンガポールでの米朝首脳会談が中止され、無期限延期になっても米国は粛々と壊滅作戦を実行する準備は進めるだろう。中止が（発表されたではなく）決定された翌日から、Jアラートトが日本全国に鳴り響くと誰が予測し、考え、備えているだろうか？
ホリエモンのように、Jアラートがうるさくて迷惑だと思っている人は、降り注ぐ火の粉に覆われて、助けを求めても助からない人の側に属している人だと自覚せざるを得なくなる。

https://youtu.be/s2rrMXofA6o　専守防衛では、国民は守れない。（国民は助からない）
最初の1発目のミサイルは甘受するとまで、発言された首相の言葉は重い。言い換えれば、最初の犠牲者は現憲法の餌食になり、国はあらかじめ「現憲法下では国民を守らない（守れない）」と断言しているに等しい。

話を戻して、シンガポール米朝首脳会談をやると云ったり、中止と云ったりで、双方、駆け引きが佳境に入って来た。結論ありきで云えば、やってもやらなくても、勝負は最初からついている。
トランプ政権の狙いは、後見役の中国と、仲介役を買って出たい韓国もろとも潰しにかかりたいという処にある。会談予定の3週間前（5月24日豊渓里地下核実験場爆破当日）にトランプ大統領は会談の中止発表を行った。

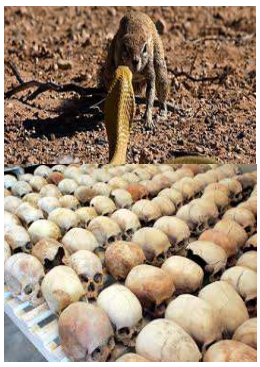
折角三国（中国・韓国・北朝鮮）協調路線で、米国に折り合いを付けさせる談合がまとまった矢先の中止発表で、習近平（環球時報）・金正恩（金桂冠）の狼狽振りは凄まじかった。環球時報は吼え捲くり、金桂冠は手の平を返したような懇願節で会談を切望するメッセージを発した。文在寅は、手も口も出せないでいた。

会談予定日まで、まだまだ紆余曲折の経緯を踏む事になるだろう。
AIIBが頓挫し、資金繰りに苦しんでいる中国の首根っこを押えるように、貿易赤字問題で更に締め付けて（北朝鮮に傾注できないよう）手綱を緩めない。米国の戦略は過去の失敗に学んでいる。過去の政策・戦略では在り得なかった二正面作戦（アジアと中東の問題）を同時並行的に進めている。打つ手、打つ手が高段者の碁を見ているようでワクワクするが、日本在住者は、Jアラートがいつ鳴るか注意しておかなければならない事を追記しておく。

PR:　ネット検索で　**www.kanang . Jp/** をご覧下さい

米朝首脳会談のゆくえ-2

ソ連共産主義が崩壊したのが1991年12月。その2年前から、ポーランド・ハンガリー・バルト三国・他 ソ連の影響下にあった国々が、非共産党国家を樹立して行った。一帯一路構想が夢想におわる第三次共産主義の崩壊は、そう遠くないだろう。　https://www.youtube.com/watch?v=VhxioWMZeYk　共産主義の崩壊



天敵（＝ある生物を攻撃して死滅させる習性をもつ生物を，その生物の天敵という。例えば
　　猫やイタチはネズミの天敵）
ジェノサイド（＝ある人種・民族を、計画的に絶滅させようとすること。集団殺害。集団殺戮。）

人道とは何か
https://www.youtube.com/watch?v=4caq5e_toz8　樋口季一郎
https://www.youtube.com/watch?v=E0qRG4cG_T4　南京事件は4回あった

共産主義と社会主義は、同義語のように使われ、理想郷を謳っているが、現実は真逆の社会を作り出し、壮絶な格差社会を生み出し、人権・言論・自由までも剥奪され、動物社会以下の（チベット・ウィグル・南モンゴルの現状）社会を生み出すことが明らかになって来ている。

崩壊の象徴/銅像撤去

表題に、第三次共産主義の崩壊としてあるのは、ソ連共産主義の崩壊を第一次崩壊と位置づけ、第二次共産・社会主義社会の崩壊を韓半島と看做してのことで、米朝首脳会談が行われても、行われなくても、韓半島の共産・社会主義（金王朝）は崩壊・消滅するしかない。

時期はいつか？早ければ3ヵ月以内、遅くとも年内。（余命半年という診立て）
中東問題とのパワーバランスで、人工呼吸器を装着して脳死しても、生き延びているという現象はあるだろうが、呼吸器を外す決断は、朝鮮人民が下すだろう。
正男君の息子さんを傀儡政権の看板に据えたところで、共産・社会主義が復活する事なども考えにくい。手のひらを返したように傀儡政権に擦り寄ってくるのが中国と韓国。狙いは共に併呑を企み、戦後復興援助が餌だが、そうはさせじと割り込んで来るのが米・露。更に面倒な争奪戦が始まるというシナリオ。

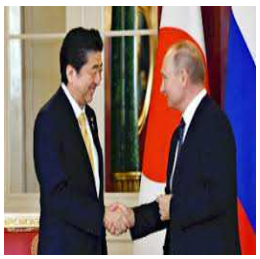
とんとん拍子にシナリオ通り事が進むかどうかは、保証の限りではない。『事実は小説より奇なり』の諺どおり、奇妙な事は幾らでも起こるだろう。外（チェンマイ＝安全安心な疎開地）から見ている限り、この連立方程式の解は、階乗計算（4！＝24、5！＝120）まで求められそうで、一国が参入してくる毎に解決策が収束しなくなり、$¥displaystyle ¥sum_{n=1}^{¥infty}a_n
という、無限等比級数計算（誰でもが解ける問題ではない）の世界に入り込んでしまう。

今、米朝首脳会談がどうなるか注目されているが、結論は『…ありき』として、『終わり即、次の始まり』説を唱える者として、次なる共産主義の終わりの方に目を向けたい。
経済が破綻し国家が崩壊するといわれ続けて来て、この十年間不動産バブルも崩壊させず、為替相場・株式介入・闇金投資で、他国を侵食し、ジェノサイドを行っている中国共産党一党独裁政権は、いつになったら本当に崩壊するのだろうか？

『第三次共産主義の崩壊はそう遠くない』と、表題に明示したが、実質的には崩壊しているのに、崩壊していないように見せかける『張子の虎』戦略に世界がまんまと騙され続けている限りに於いては、崩壊は予測できない。間隙を縫って、小ずるい中国人は、自己防衛のための小銭を貯め（日本の不動産など）海外資産を購入し、逃亡の準備をしている事も明らかになって来ている。

国防意識が極端に薄い日本人は、官民上げて、こぞって『張子の虎戦略』に便乗して売国行為をしている事に罪悪感を感じていない。（嘆かわしい限りだ）
この観点からすれば、中国の前に日本が詰んでしまっている。

5月26日には、モスクワのクレムリンで日露首脳会談が行われ、報道される限りに於いては、北朝鮮の非核化に関して足並みを揃える事で合意、米朝首脳会談を見守る事で合意。拉致問題の解決に理解を示す。日露で進めている共同経済活動を推進させる事で合意。など。



北方4島返還に関する踏み込んだ話よりも、共同経済活動の方に軸足を置いて、経済界の要人交流に重点が向けられた感が強い。今は、中国包囲網構築のために、日露協調路線を確実に固める事が得策でもある。
文在寅が、米朝の橋渡し役を必死にやればやるほど、韓半島から中国色は遠のく。米露の橋渡し役を安倍首相が担えば、中国は益々孤立する。
それぞれの首脳達が鉄面皮をかぶりながらの仮想パーティーが開催されている。爆竹と太鼓を打ち鳴らしながら、獅子舞の獅子をかぶった習近平の逆襲劇が見ものでもある。